

2019 年度 授業計画(シラバス)

学 科	言語聴覚士学科		科目区分	専門基礎分野	授業の方法	講義
科目名	言語発達学		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	15 (1) 時間(単位)
対象学年	1年		学期及び曜時限	前期	教室名	702
担当教員	松尾 泰子	実務経験と その関連資格	言語聴覚士として小児通園施設にて勤務経験あり。発達障害児の言語訓練を行っていた。			
《授業科目における学習内容》						
定型発達を解説する中で、言語発達障害児の臨床で使用する検査等を併せて学習していく。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験60% レポート40%						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
教科書: 言語聴覚士のための基礎知識 音声学・言語学(医学書院)						
《授業外における学習方法》						
基本用語を復習し、暗記して下さい。また、レポート課題に関しては提出期限を守り、不明な点があれば事前に質問をして即座に解決していきましょう。						
《履修に当たっての留意点》						
6月から始まる学内実習施設「ことばの相談室」の見学実習に向け、ことばの発達に興味を持って頂けたら『繋がる授業』になるのではと思います。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語発達の生理的基盤について説明できる	教科書 資料	復習)レジュメを自分で ノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	授業概要/言語とコミュニケーションの発達について			
第2回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	言語発達の主要理論について説明できる 発達検査ができる	教科書 資料	復習)レジュメを自分で ノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	言語発達理論① / 発達検査(津守・稲毛乳幼児精神発達 質問紙)			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	言語発達の主要理論について説明できる	教科書 資料	復習)レジュメを自分で ノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	言語発達理論②			
第4回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	前言語期の概要について説明できる 発達検査ができる	教科書 資料	復習)レジュメを自分で ノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	前言語期の発達 / 発達検査(KIDS乳幼児発達スケール)			
第5回	講義 実習形式	授業を通じての到達目標	幼児期前半の概要について説明できる 発達検査ができる	教科書 資料	復習)レジュメを自分で ノートにまとめましょう	
		各コマにおける授業予定	幼児期前半(1~2歳)の言語発達 / 発達検査(遠城寺式乳 幼児分析的発達検査法)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容
第6回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	幼児期後半の概要について説明できる 発達検査ができる	教科書 資料	(復習)レジュメを自分で ノートにまとめましょう
		各コマにおける授業予定	幼児期後半(3歳～)の言語発達 / 言語発達検査(絵画語彙発達検査)		
第7回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	学童期とそれ以降の概要について説明できる 言語発達検査ができる	教科書 資料	(復習)レジュメを自分で ノートにまとめましょう
		各コマにおける授業予定	学童期とそれ以降の言語発達 / 言語発達検査(質問-応答関係検査)		
第8回	講義 演習形式	授業を通じての到達目標	言語発達の基本的概念について説明できる 言語発達検査ができる	教科書 資料	(復習)レジュメを自分で ノートにまとめましょう
		各コマにおける授業予定	基礎理論と臨床 / まとめ		
第9回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第10回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第11回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第12回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第13回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第14回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			
第15回		授業を通じての到達目標			
		各コマにおける授業予定			